



記念館だより

2020年11月号

「歴史に学ぶ」

加藤 輝勢子

秋も一段と深まってきた感じですが。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋といろいろありますが、コロナ禍だからこそ今の季節ならではのことを楽しんでみてはいかがでしょうか。

本所賀川記念館では、毎月「賀川豊彦研究」という学習会を開いています。賀川豊彦研究誌のもとになる学習会です。雨宮栄一著『青春の賀川豊彦』等の三部作や賀川ハルに関する書物、賀川自身の著作などを読み、創立者の志を学びたいと職員や関心のある方たちと行っています。

1909年に賀川豊彦氏が神戸新川から活動を始めました。2009年には活動を記念して100年の記念事業を行いました。さらに、2023年には関東大震災を迎えて100年になります。このことを覚えて、今新たな学びとして『40年の恵み』本所基督教青年会・日本基督教団東駒形教会四十年史を読み始めました。

はじめに賀川ハル氏が「40年をかえりみて」と題して関東大震災後にこの地に来られて産業青年会の働きを顧み、今なお続いている事業に思いを馳せられていました。続いて第一部、一創立より再建まで一というくりでまとめられていました。

この部分が産業青年会の歩みを振り返ったことだと思います。創立時代の資料が載っていたり、東駒形教会、光の園保育学校、中ノ郷信用組合、江東消費組合、労働中学、産業学院等々が書かれています。

第二部一再建より四十周年まで一として東駒形教会、光の園保育学校のことが取り上げられています。『40年の恵み』が発行させたときはまだ、旧建物の時で現在の本所賀川記念館は存在していません。しかし、創立期から再建を経ての『40年のめぐみ』を読んでいると、その当時の活動していた方々の意気込み、溢れんばかりのパワーが感じられました。

10月は「光の園保育学校」がテーマで川島園長の発題のもと、いろいろな資料を出していただいて学ぶことができました。光の園保育学校は保育園なのに、なぜ保育学校なのか？等々、創立者の思いも含めて盛り上がりました。

11月は「中ノ郷信用組合」を取り上げます。本所賀川記念館の隣にある「中ノ郷信用組合」の草創期も含めて学ぶことができます。今から楽しみです。

関心のある方ぜひご参加ください。



学童クラブ



毎年、この時期には光の園保育学校と本所だから保育園の年長組さんを招待して行う「秋祭り」があります。今年は開催は出来ないものの、年長組さんたちに遊んでもらおうと子どもたちのアイディアをもとに、パラシュートやペットボトルビーズ、ミサンガ、折り紙の箱などを作りました。

年長組さんのことを思いながら、「これちょっと大きすぎかな?」「もっとかわいい柄にしよう!」などの声飛び交います。当日は、全員で届けに行けなかったのが代表して4人のお友だちとプレゼントを渡しに保育園へ行きました。作ったプレゼントの説明を上級生がハキハキとしていました。1年生のお友だちも一緒に行きましたが少し照れ気味・・・上級生が頼もしい姿を見せてくれたなと感じました。年長組さんが楽しんでくれればよいなと思います。(内野)



コスモス会のお弁当

～10月のメニューご紹介～

3日 さつまいもごはん／鮭のきのこあん／小松菜ととき卵のスープ／オクラとなめこの酢の物／ぶどうと柿

10日 しめじ炊き込みごはん／鶏のやわらかつくね／ほうれんそうと里芋のごま浸／かぶの甘酢漬／サラダ／みそしる／フルーツ

17日 栗ご飯／ロールキャベツ／春雨サダ／切干大根／玉子焼き／味噌汁／漬物／デザート

24日 白飯／コブ佃煮／なす肉巻きのごあんかけ／マカロニサラダ／長芋炒め／小松菜ゴマ和え／さつま芋きんとん／味噌汁／わらび餅風デザート

◎高齢者配食に興味ある方ご一報を！(針)



記念館トピック

【賀川研究】

『四十年の恵み～本所基督教産業青年会・日本基督教団東駒形教会四十年史』を読み進めています。

11/19(木) 19:00～

本所賀川記念館3F ホール

美術教室



第2～4週水曜日 15:00～17:00

講師：亀田谷亜礼先生

(今年度は新規入会を休止しています)

ピアノ教室

毎週月曜日

講師：土屋 紘枝先生

